ユーパ

EUPA

UHY-1A

ハイブリッド加湿器（家庭用）

HYBRID HUMIDIFIER

CONTENTS

1. 安全上のご注意……………………………P.1~2
2. 仕　　　様…………………………………P.2
3. 各部のなまえ………………………………P.3
4. ご使用方法…………………………………P.4~6
5. お手入れの仕方……………………………P.7
6. 修理を依頼される前に……………………P.8
7. アフターサービスについて………………P.8
8. 保証書(持込修理)…………………………P.9

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方で末永くご愛用ください。お読みになった後、大切に保管して下さい。

別売部品		
品　名	商品番号	価　格
陽イオン交換用樹脂フィルター	S0733	￥1,700ー
電源コード	S0734	￥2,500ー

取扱説明書　保証書付き

1. 安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになって、正しくお使いください。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意	人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

⃠記号は、「禁止」(しないでください)を示します。

●記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

⚠ 警告

分解・修理・改造は絶対にしないでください。
●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
●感電の恐れがあります。
●分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

幼児の手の届く範囲で使用しないでください。
●感電・けがの原因になります。

電源コードを傷付け、破損・加工・変形・たばねたり・引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
●重い物を載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

吹出し口から噴霧される霧は吸入しないでください。
●健康を害する場合があります。

本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しないでください。
●霧化部に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生したり故障の原因になります。

傷んだ電源コードや差込プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。
●ショート・漏電・過熱し、感電・発火の原因になります。

本体や操作部を水に浸けたり、水をかけたりしないでください。
●ショート・感電・火災の原因になります。

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜いてください。
●感電ややけどの原因になります。

異常時(こげくさい臭いなど)は、運転を停止して差込プラグを抜いてください。
●異常時のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買上げの販売店または当社お客さま専用ダイヤルにご相談ください。

内部に異物を入れないでください。
●蒸気の吹き出し口や空気の吸い込み口から金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない。金属類や燃えやすいものが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

排水方向から排水してください。
●感電ややけどの原因になります。

排水時は必ず先に差込プラグを抜いてください。

電源は交流100V以外では使わないでください。
●火災・感電・故障の原因となります。

濡れた手で差込プラグを持たないでください。
●感電やけがをすることがあります。

定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。
●他の器具と併用するとコンセント部の異常発熱による発火で火災の原因となります。

定期的に差込プラグのほこりを取ってください。
●ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

吹き出しノズルを外したまま使用しないでください。
●誤って手など入れるとけがの原因になります。

幼児など取扱いに不慣れな方には付き添いなしで使用しないでください。
●けがや故障・事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意

差込プラグは電源コードを持って抜かないでください。
●電源コードが傷み感電やショートして発火することがあります。
●必ず差込プラグを持って抜いてください。

使用時以外は差込プラグをコンセントから抜いてください。
●けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

使用中は本体を持ち運ばないでください。
●水がこぼれて床を濡らしたり、故障の原因になります。

使用中や使用直後はお手入れをしないでください。
●けがや感電の恐れがあります。

1. 安全上のご注意

⚠ 注　意

水タンクの水は毎日新しい水道水に入れ換えてください。
●水槽部に残っている水も、ご使用のつど捨ててください。また、水槽部や霧化部は1週間に1～2回以上はお手入れをして常に清潔な状態でお使いください。

水タンクを外して使用しない。
●水が飛び散って床を濡らしたり送風筒から水が入り故障の原因になります。

本体の上に腰掛けたり、足を乗せたりしないでください。
●水がこぼれたり、破損の原因になります。

水タンク内に温水（40℃以上）、化学薬品、汚れた水、芳香剤などを入れて使用しないでください。
●故障の原因になります。

加湿しすぎないでください。
●加湿しすぎると室内を濡らしたり、故障の原因になります。

寒冷地などで凍結の恐れのある時は、水タンクと水槽内の水を捨ててください。
●水タンクが割れたり、故障の原因になります。

この加湿器は室内（居住空間）の加湿専用です。これ以外の目的では使用しないでください。
●漏電・火災・感電などの原因になります。

布などをかけないでください。
●空気の吸い込み口や蒸気の吹き出し口がふさがれると本機の温度が上昇し、火災や感電、やけどの原因となります。

設置場所の注意

風呂場やシャワー室など、水がかかるような場所で使用しないでください。
●感電や火災の原因になります。また、窓際に置いて使う場合は、雨や雪がかからないように気を付けてください。

湿度の高い（70%以上）ところでは使用しないでください。
●家具にしみが付いたり変色の原因になります。

直射日光があたる場所や暖房機の上または近くで使用しないでください。
●変形・変色をしたり、誤作動することがあります。

カーペットや布団などの上で使用しないでください。
●本体低面の吸気口がふさがると誤作動や故障の原因になります。

不安定な場所には置かないでください。
●水がこぼれて床を濡らしたり、故障の原因になります。

電気製品やパソコン・精密機器などがあるところでは使用しないでください。
●湿気や白粉の影響により、機器の故障を引き起こす場合があります。

熱に弱い家具や床の上で使用しないでください。
●本体低面の熱により変色したり、変形の原因になることがあります。

加湿器の周辺にできる白い粉について

加湿器から発生する霧が蒸発すると加湿器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。
これは、発生する霧の中(水道水)に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分が固形化したもので、有害なものではありませんが、加湿器周辺で電気製品や精密機器（パソコン）などを使用したり、家具などの近くで使用すると霧が蒸発したあと白粉が生じ、動作不良や故障、家具などを傷める原因となる場合があります。

2.仕　　様

電　　源	交流100V 50 /60Hz		
消費電力（定格電流）	130W（スチーム「入」時）／45W（スチーム「切」時）		
加湿量（連続運転時）	400ml/h（スチーム「入」時）／300ml/h（スチーム「切」時）		
適用床面積	最大約18畳相当		
タンク容量	6.0L	電源コードの長さ	1.5m
重　　量	3.4kg		
大きさ	幅189mm×奥行297mm×高さ331mm		

●この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY

3. 各部のなまえ

加湿量つまみ
Max
ヒーター加熱ランプ
給水ランプ
電源スイッチ
スチーム加湿スイッチ
電源 入/切
スチーム
操作部
吹き出しノズル
●360° 噴霧方向を変えることが出来ます。また、2方向に噴霧することが出来ます。
水タンク
水タンク取っ手
噴霧ガイド
●水タンク底部
タンクキャップ
※タンクキャップは傾きのないよう、必ずしっかりと締めてください。締め付けが悪いと水漏れなどの原因になります。
付属品
掃除用ブラシ(1本)
(水槽部に収納)
差込プラグ
マグネット電源コード
本 体
内 部
※送風ガイド口から水が本体内部に入り込まないように注意してください。機器内部が濡れ、故障の原因になります。
送風ガイド
送風筒
霧化部(振動子)
排水方向
陽イオン交換樹脂フィルター
※交換目安:約3ヶ月
水槽
フロート
●水槽内の水位を検知します。
掃除用ブラシセット位置
底 部
吸気フィルター

4. ご使用方法

※電源コードを束ねたまま使用しないでください。

設置場所について

正しい置き場所

吹出口から上方 1m 以内に噴霧をさえぎるものがない所、周囲との距離が充分にとれる安定した水平な場所に置いてご使用ください。

良くない置き場所

●暖房器具などの上や近くで高温 (40℃以上) になるところや、直射日光のあたるところ
プラスチック部品が変形したり、水タンク内の水があふれたりします。

●吹出口から出る噴霧が直接、家具・壁・天井などにあたるところ
家具などにシミや変形ができたり、故障の原因になります。

●傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な場所・電気製品や精密機器 (パソコン) などの近く
加湿によって湿気をおびたり、転倒すると水がこぼれ、感電・故障の原因になります。

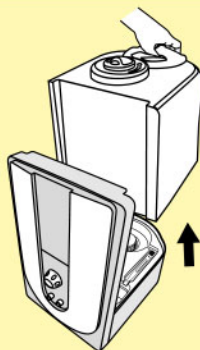
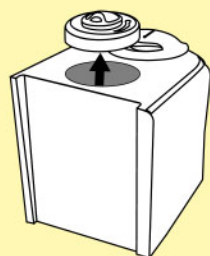
●床の上
直接床の上に置くと、風向きや室内の湿度によっては床を濡らしたり、電源コードを足に引っ掛け水がこぼれたりけがや故障の原因になります。

●スピーカーなどの磁気の近くや家具や壁の近く
湿度センサーやフロートスイッチが誤作動して加湿が停止するなど、機能が正常に作動しなくなることがあります。

●濡れた場所や壁・水槽などの近く
湿度センサーが誤作動して正常な湿度や温度が計測されず加湿が停止するなど、機能が正常に作動しないことがあります。また、給水などで設置場所が濡れた場合は水分を拭き取ってください。

タンクに水を入れる

1 本体から水タンクを外します。

※水槽に水が入っているとき、水タンク底部に付着した水がこぼれることがあります。
タオルなど敷いて周辺を濡らさないように注意してください。

2 水タンクから吹き出しノズルを外します。

3 タンクキャップを外し、水タンクに水道水を入れます。

※本体や水タンクにアロマオイルや芳香剤・洗剤・化学製品・温水 (40℃以上) などを入れないでください。
水タンクや内部に悪影響を与え、故障の原因になります。

※水道水以外の水を入れないでください。(浄水・ミネラルウォーター不可)
水の成分によって内部に悪影響を与え、故障の原因になります。

※本体や吹出口に直接水を入れないでください。
本体内部に水が入り故障の原因になります。

※水タンクをぶつけたり、落としたりしないでください。
水タンクの破損や変形により、水漏れの原因になります。

※水タンクの水は毎日交換し、常に清潔にしてご使用ください。

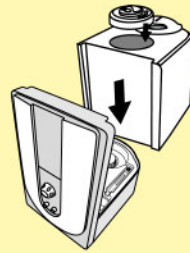
※水タンクや水槽に異物 (ヘアピン・マッチ棒・クリップ等) を入れないでください。
故障の原因になります。

4 タンクキャップをしっかりとめます。

※ゴムパッキンがタンクキャップに装着されていることを確認してください。
また、キャップはしっかりと締め付けてください。
ゴムパッキンが装着されていなかったり、キャップの締め付けが弱いとタンクに空気が混入して、水漏れの原因になります。

4. ご使用方法

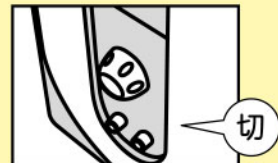
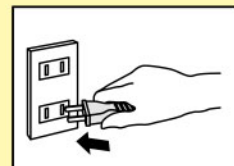
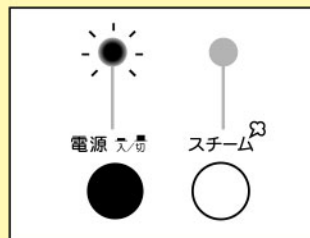
5 水タンクを本体にセットし、吹き出しノズルを取り付けます。

※水タンクをセットした後は、本体を移動したり水タンクの取り付け・
　取り外しをむやみに繰り返さないでください。
　水がこぼれて周囲を濡らしたり、故障の原因になります。
※吹き出しノズルを外したまま使用しないでください。

運転前に知っておいていただきたいこと

●初めてご使用になるときや水を入れ替えたときは、
　水タンクを本体にセットしてから霧が出るまでに時間がかかります。
　水がフィルターを通過したり、本体水槽内に水が行きわたるまでに時間を要するためです。
　この場合は、水タンクをセットしてから5～10分程待ってから電源を入れてください。
●水タンクに水を入れてから運転停止状態で長時間放置しないでください。
　運転停止状態では水タンク内の圧力があがり、水漏れの原因になることがあります。
　ご使用以外は必ず水タンクと水槽内の水を全て抜いておいてください。
●運転を始めた直後は、霧が安定しないことがあります。
　これは水道水の水温や水質により振動子での霧化が安定するまで時間を要するためです。
　10～15分運転することより、徐々に霧の量が安定していきます。

運転の仕方

1 差込プラグをコンセントに差し込みます。

●電源スイッチが「切」の位置になっていることを確認してください。
※電源コード・差込プラグが傷んでいるときは使用しないでください。
　感電／ショートの原因になります。
※水のない時や本体を倒した状態では、絶対に通電しないでください。
　故障の原因になります。

電源ボタンを押し、電源を入れます。

加湿量の調節

●加湿量つまみを「MAX」の方向に回すと加湿量が強く（多く）なり、
　「左（反時計回り）」の方向に回すと弱く（少なく）なります。
●お好みの加湿量に調節してください。
※加湿量つまみが「ミニマム」の時は、まわりの湿度条件により、
　霧が見えにくいことがあります。

※加湿のしすぎに注意

　加湿量が多すぎますと、床や置き台などの表面が霧で濡れることがあります。
　また、精密機器や電子機器・家具などに直接霧がかからないように充分注意してください。

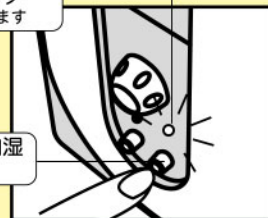
4. ご使用方法

水をあたためて加湿するには(ヒーター加湿)

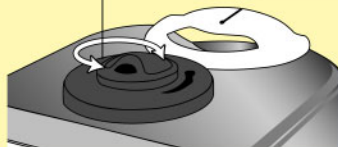
本体に内蔵されている補助ヒーターの働きにより水を加熱します。水をあたためて霧化することで加湿効率が上がると共に、殺菌効果もあります。

●スチーム加湿スイッチを押すと、スチーム加湿ランプが点灯し、スチーム加湿が作動します。

※スチーム加湿に切り替えてから、水があたたまるまで約20分程度要します。

※周りの温度や湿度の状況によっては、霧があたたかく感じにくいことがあります。

噴霧方向を変えるには

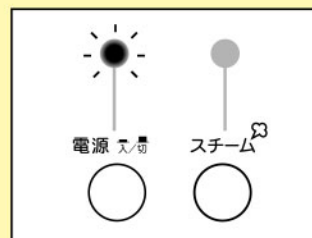
吹き出しノズルを回転（360°回転可能）させると噴霧方向を変えることが出来ます。

吹き出しノズルの上部を図のようにすると噴霧方向が2方向に分かれます。

タンクに水がなくなったら

1. 使用中にタンクに水が少なくなると、緑と赤のランプが点滅し、補給を促します。
2. 補給しないで、運転を継続した場合、水がなくなると自動的に運転を停止し、電源ランプが赤になります。

●電源スイッチを「切」にしてください。

●続けてご使用になる場合はP4【タンクに水を入れる】の手順で補給してから、再度電源を入れてください。

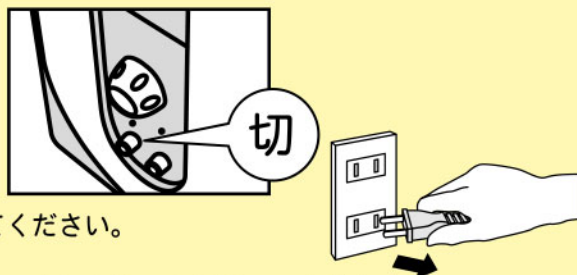
※水タンクを持ち上げると、タンクの底部に付着した水がこぼれることがあります。水タンクを持ち上げるときは、タオルなどを敷いて床や家具などを濡らさないようにご注意ください。

運転を停止するには

電源スイッチを「切」にします。

差込プラグをコンセントから抜きます。

※水アカ固着防止のため排水してください。

※長時間使用しないときや使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜いて排水してください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

※寒冷地などで凍結の恐れがある場合は、水タンクと水槽の水を捨ててください。
水タンクが割れたり、故障の原因になります。

5. お手入れの仕方

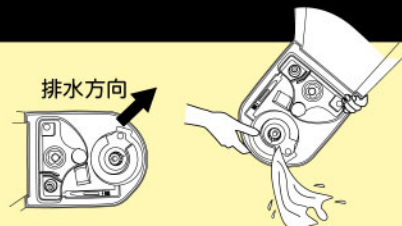
⚠ 注意

- ●お手入れは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- ●本体内部のお手入れの時に、本体に直接水を入れたり本体に水をかけたりしないでください。
  感電の原因になることがあります。
- ● 使用中や使用直後は、お手入れしないでください。
- ●本体内部のお手入れに塩素系や酸性の洗剤を絶対に使わないでください。
  有毒ガス発生の原因となることがあります。

排水の仕方

1. 水タンクを本体から外します。
2. 本体を傾けて排水します。

※排水は必ずお湯が冷めてから行ってください。
※必ず排水方向（図）から排水してください。
排水方向を誤ると、水漏れの原因になります。

排水時は必ず先に差込プラグを抜いてください。

水タンク・吹き出しノズル

1. 吹き出しノズルを外し、水タンク内に残っている水を捨てます。
2. 水タンク内に少量水を入れ、タンクキャップを締めてよく振り洗いした後排水します。
   2～3回繰り返してください。
3. 吹き出しノズルの汚れを水で洗い流した後、柔らかい布で拭き取ります。

※水タンクに衝撃を加えると破損して水漏れの原因になります。水タンクのお取り扱いは充分にご注意ください。

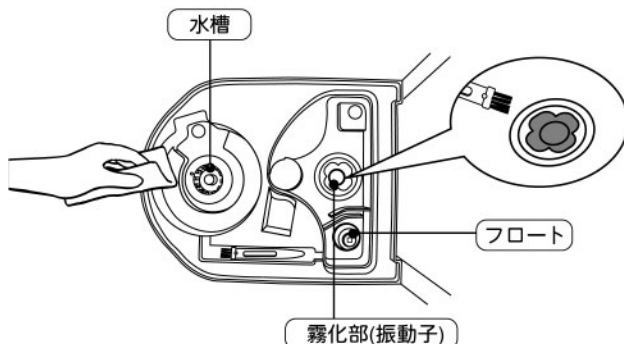
水槽部・霧化部・フロートなど（1週間に1～2回以上）

水槽内
●水を浸した柔らかい布で水槽内に付着した汚れを拭き取ってください。
●細部の汚れは、付属のブラシで落とした後、柔らかい布で拭き取ってください。

フロート
●フロートの回りにゴミなどが入らないか確認し、ゴミなどがある時は取り除いてください。
●細部の汚れは、付属のブラシで落とした後、柔らかい布で拭き取ってください。

霧化部
●振動子の表面に付着した汚れは、付属のブラシを軽くあてて落とした後、柔らかい布で拭き取ってください。

本　　体

●本体外側は、水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
※本体の丸洗いはしないでください。
感電や故障の原因になります。
※シンナー・ベンジン・ベンゾール・ミガキ粉・たわしなどを使用しないでください。
変質・変色の原因になります。

お願い
振動子の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研摩剤入りのタワシやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。
変形したり傷が付くと加湿量が弱くなったり、故障の原因になります。

6. 修理を依頼される前に

以下のことをお調べになり、なお異常のあるときは、すぐにお買い上げの販売店に詳細をお知らせください。

状　　況	お調べいただくところ
電源が入らない	● 差込プラグが抜けていませんか？→ 差込プラグをコンセントに差し込む。
霧がでない	● 水タンクの水がなくなっている → 水タンクに水を入れる ● 本体内部が汚れている → お手入れのしかたのとおりに、本体内の不純物を取り除く
霧の出が悪い	● 加湿量つまみが「ミニマム」になっていませんか？ → 加湿量つまみを「MAX」の方向に回す。 ● 振動子の表面に水あかなどの汚れが付着していませんか？ → 振動子のお手入れをする。
あたたかい霧にならない	● スチームスイッチを入れていますか？ → スチームスイッチを入れる。 ● 運転を開始した直後ではありませんか？ → スチームスイッチを入れて、あたたかい霧が発生するまで20分程度かかります。

7. アフターサービスについて

1.保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。
2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。保証期間中に修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店まで保証書を添えて商品をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。
3.保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって、機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4.この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5.製品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
6.アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

燦坤（サンクン）日本電器株式会社　〒110-0016 東京都台東区台東1丁目24番1号
お客様専用ダイヤル 03-3837-1235
受付時間：月～金曜日　9時～12時／13時～17時（土、日曜、祝日はお休み）

http://www.tsannkuen.jp